

# 中学校部活動の地域移行

留萌市教育委員会  
教育政策課

# 1. 現状・課題

## ◆少子化の進展で生徒数減少

少子化の急速な進展で生徒数が減り、部活動の休止や廃部、単独校によるチーム編成が困難になるなど、これまでの生徒個々のニーズによる部活動選択の幅が維持できなくなっています。

(教育政策課による推計)

### 【参考】市内小中学校の児童生徒数推移(推計)



	平成24年 (2010)	平成29年 (2015)	令和2年 (2020)	令和4年 (2022)	令和6年 (2025)	令和11年 (2030)	令和16年 (2035)
小学生	1,032	886	788	<b>714</b>	673	622	573
中学生	542	429	450	<b>400</b>	371	343	317
計	1,574	1,315	1,240	<b>1,114</b>	1,044	965	890

# 1. 現状・課題

---

## ◆部活動指導に係る教職員の負担

中学校の教職員の時間外勤務のうち、平日の放課後や休日の部活動指導が高い割合を占めており、働き方改革を進める上で大きな課題の一つとなっています。

## ◆地域との連携の在り方

子どもたちの育成は学校・家庭・地域で担われている中、地域のスポーツ・文化芸術団体と学校との連携・協働が十分でない状況もみられます。



## 2. 国による部活動改革の方向性

(1) まずは休日の部活動から段階的に地域移行

(2) 目標時期：令和5～7年度を目途

(3) 平日の地域移行は休日の地域移行の進捗状況を検証し、更なる改革を推進

(4) 地域におけるスポーツ・文化芸術に親しむ機会の確保、生徒の多様なニーズに合った活動機会の充実にも着実に取り組む

(5) 地域のスポーツ・文化芸術団体と学校との連携・協働の推進



# 3. 教育委員会の取組み

## (1) 部活動地域移行に関するアンケートの実施

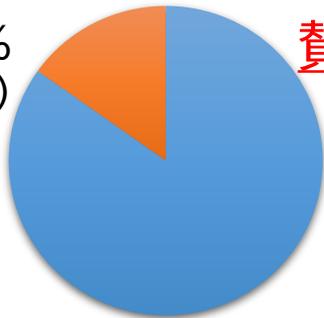
### ① 保護者からの回答

#### 【運動部】

反対15.2%  
(25人)

賛成84.8%  
(140人)

■ 賛成 ■ 反対

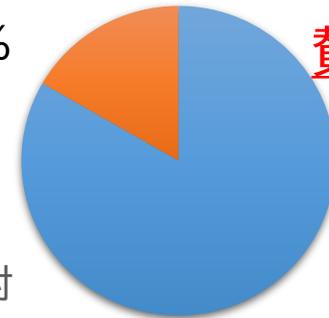


#### 【文化部】

反対16.7%  
(5人)

賛成83.3%  
(25人)

■ 賛成 ■ 反対



#### 【賛成の主な理由】(複数回答可)

- ・少子化により学校単位での活動が困難 (93人)
- ・教職員の負担が大きいため (73人)
- ・専門家が指導したほうがいい (46人)
- ・部活動指導からスポーツ指導に観点を改めていくべき (15人) 等

#### 【反対の主な理由】(複数回答可)

- ・地域や民間との連携が不安 (15人)
- ・安全管理や生徒指導上の課題に不安 (15人)
- ・学校単位の活動ができなくなる (11人) 等

#### 【賛成の主な理由】(複数回答可)

- ・教職員の負担が大きいため (16人)
- ・専門家が指導したほうがいい (13人)
- ・少子化により学校単位での活動が困難 (6人)

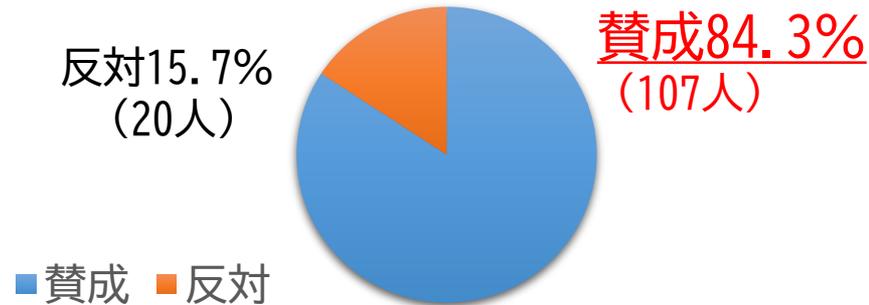
#### 【反対の主な理由】(複数回答可)

- ・地域や民間との連携が不安 (4人)
- ・民間指導者の人間性・指導力など不安 (3人)
- ・安全管理や生徒指導上の課題に不安 (3人) 等

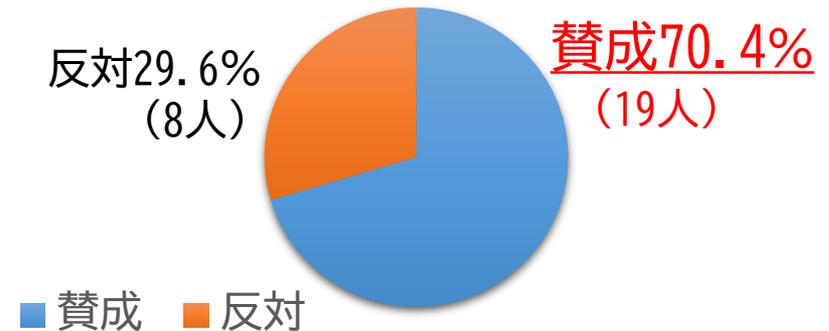
# 3. 教育委員会の取組み

## ② 生徒(部員)からの回答

### 【運動部】



### 【文化部】



#### 【指導を顧問の先生以外が行うことについて】

- ・指導力があれば先生、民間指導者どちらでもいい (42人)
- ・顧問の先生だけで良い (20人)
- ・指導してくれれば誰でも良い (20人)
- ・顧問の先生と民間指導者両方がいい (19人)
- ・先生が忙しいなら民間指導者でもいい (16人)
- ・民間の指導者がいい (9人)

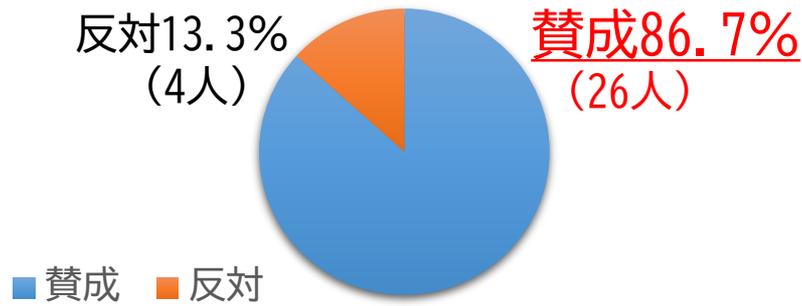
#### 【指導を顧問の先生以外が行うことについて】

- ・指導力があれば先生、民間指導者どちらでもいい (8人)
- ・顧問の先生だけで良い (8人)
- ・顧問の先生と民間指導者両方がいい (5人)
- ・指導してくれれば誰でも良い (3人)
- ・先生が忙しいなら民間指導者でもいい (2人)
- ・民間の指導者がいい (1人)

# 3. 教育委員会の取組み

## ③ 教職員(顧問)からの回答

### 【運動部】



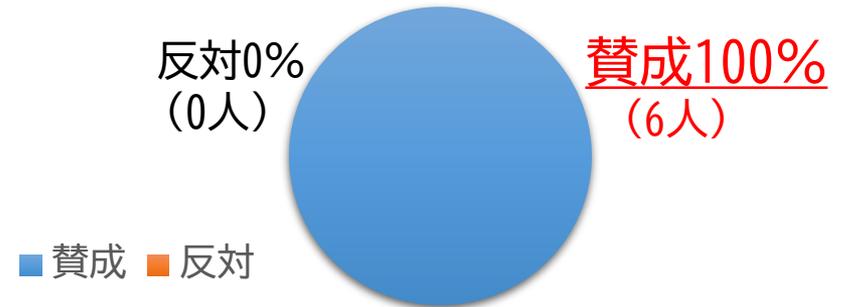
#### 【賛成の主な理由】(複数回答可)

- ・教員の負担が大きい (24人)
- ・平日の部活動でも地域移行が望ましい (13人)
- ・専門外の顧問指導より専門家の指導が良い(12人)
- ・学校部活動指導から地域スポーツ指導に視点を変えていくべき (12人) 等

#### 【反対の主な理由】(複数回答可)

- ・地域人材や民間団体などとの連携に不安を感じる・イメージがわからない (4人)
- ・指導者の人間性・指導力・環境(場所)に不安、疑問を感じる (2人)
- ・生徒の安全管理や生徒指導上の課題に不安を感じる (2人) 等

### 【文化部】



#### 【賛成の主な理由】(複数回答可)

- ・教員の負担が大きい (6人)
- ・平日の部活動でも地域移行が望ましい (3人)
- ・専門外の顧問指導より専門家の指導が良い(3人)
- ・学校部活動指導から地域スポーツ指導に視点を変えていくべき(1人) 等

◆別途、顧問ヒアリングも実施し、直接ご意見を聴く機会も設けました。

# 3. 教育委員会の取組み

## (2)「部活動の在り方検討委員会」の設置

今年10月から、市内中学校長、顧問教員、スポーツ協会、地域スポーツ団体、文化・芸術団体、保護者、市教委の代表者による「留萌市部活動の在り方検討委員会」を設置し、検討をはじめていますが、地域の受け皿や指導者の確保、報酬等の予算や会費の在り方など課題は山積しています。

### 《部活動の課題》

- 地域移行の早期実現
- 学校規模や生徒数に応じた部活動数の適正化
- 部活動の運営手法  
(合同・拠点方式、地域クラブ化)
- 指導者の確保
- 必要経費の負担(保護者負担) など



# 3. 教育委員会の取組み

## (3) 検討委員会からの「提言書」

検討委員会では、地域移行も含めた部活動改革を進めるにあたり、様々な面から検討・協議を重ね、留萌市の部活動に関する現状と課題、進むべき方向性を整理し「提言書」としてまとめ、提出いただくこととなっています。

## (4) 今後の取組み

教育委員会では、検討委員会からの「提言書」をもとに、地域の幅広い協力による指導体制の充実、持続的な部活動運営体制の確立に向け具体的な検討を進め、R5年度から段階的な地域移行を進めていきたいと考えています。

